

平成21年度 事業報告概要 (指定管理者からの事業報告書概要)

報告期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	(株)オーエンス横浜支店 支店長 堀江 数司
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、当該日の直後の休日でない日、大和市民まつりの日、
 年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。
 午前10時～午後9時まで開館

・施設の受付

年間利用者数

総利用者数	74,157人
風呂利用者数	45,301人

・利用者へのサービス

ロビーテレビの更新
 ヘルスマーター更新

・施設の改修、改善

浴室シャワー設備補修、檜風呂浴室換気扇及び天井補修、檜風呂サウナ内壁補修
 展示コーナー本棚設置、浴室入口下駄箱増設、AED設置

・自主事業

事業名	開催日時	参加者数
落語会	5月23日(土)15時～17時	61人
料理教室	9月13日(土)13時～17時	15人
	11月20日(金)11時～15時	13人
3B体操	10月9日(金)13時～15時	15人
カラオケ発表会	12月5日(土)13時～17時	48人(出演者25人)
ふれあい将棋大会	1月10日(日)10時～17時	24人
新春名画鑑賞会	1月16日(土)14時～16時	24人
ふれあい囲碁大会	1月24日(日)10時～17時	12人
利用者感謝デー	8月29日(土)10時～16時	214人
	3月22日(月)15時～16時	89人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・年間総利用者数は、平成 20 年度に比べ 2,835 人(約 4%)増加した。
利用者総数は若干増加した。利用率が伸び悩んでいた会議室等の利用が増加したことは、プラザが周知されてきていると思われる。また、ロビー兼ギャラリー、娯楽室、談話室、展示コーナーで囲碁や将棋に興じたり会話を楽しんだりする人は、平成 20 年度に比べ 338 人減少しているが、全体利用者数の増加から、地域の憩いの場として定着していることが窺える。
- ・風呂の年間利用者数は、平成 20 年度に比べ 1,854 人増加した。
これは、平成 20 年度の 7 月、8 月に約 2 週間に亘って、岩風呂の修理があり使用中止し、平成 21 年度においても 9 月、10 月に約 1 週間、檜風呂の修理を行なったが、この修理による期間が短かったことが考えられる。
収入については、平成 20 年度に比べ、市内大人 867 人と市外大人 20 人が増加し、92,150 円の増収となった。
- ・会議室等の年間利用者数は、平成 20 年度に比べ 1,319 人増加した。
要因としては、サークル等の新規登録（6 団体）と定期的に使用されているサークル等の使用回数の増加が影響したと思われる。
収入については、利用者増加により平成 20 年度に比べ 37,325 円増収となった。
- ・調理室については、これまで使用実績が乏しかったが、指定管理者が新規の自主事業として料理教室を 2 回調理室で開催したところ、意欲的な参加者が集まり、講師の指導のもと参加者も食材の提供を行うなど事業に協力的であった。こうした状況から、指定管理者は、将来的には自主事業から、事業主体を参加者に移行させても運営可能であると判断しており調理室の効果的な利用推進が期待できる。料理教室を 2 回開催し 28 人が参加した。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	13,970,000	人 件 費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	11,220,030
そ の 他 (自動販売機、マッサージ器利用による収入)	238,928	施設管理費等 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	1,887,543
収入計 (①)	14,208,928	支出計 (②)	13,107,573

収支決算 (①－②)	1,101,355
------------	-----------

【収支決算に関する補足説明】

収入については、前年比較で 13,322 円の微増であった。

支出については、前年比較で 100,925 円増加している。これは自主事業が3回増加したことによる。

3. 管理運営に対する評価等

【大和市環境審議会の意見】（H22.6.22 開催の大和市環境審議会より）

- ・ 事業報告書以外にも、指定管理者の評価指標を示して欲しい。

【管理運営に対する評価（大和市施設課）】

- ・ 自主事業の内容を工夫し、利用率の向上への取組みがみられる。また展示コーナーなどを利用し、交流、ふれあいの場作りへ工夫も積極的に行っている。
- ・ 今後も、適正な管理運営に努めて、市民の健康、福祉に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待する。
- ・ 利用者アンケートの内容としては、囲碁、将棋大会を年2～3回開催してほしい、駒を新しい物に替えてほしい、映画会、落語等がもう何回かあると良い等の意見が届いており、自主事業への期待が高い。